



まるで白いじゅうたん 700万本のそばの花まつり賑わう



波野中学校体育館で9月16日に開催され、中江岩戸神楽保存会による神楽公演、そばの早食い競争などが行われました。また、6ヘクタールにも及ぶそばの花畑では無料開放が行われ、五岳を背景にそばの花畑を一目見ようと雨天にもかかわらず多くの観光客で賑わいました。

♪生演奏に保育園児うっとり

ピアノやバイオリンの生演奏と声楽家による童謡コンサートが、8月30日、りんどう保育園で開催され、園児や保護者、地域の人たち約70人が鑑賞しました。

普段、触れることのない生演奏に触れてもらおうと毎年開催されているもので、演奏者は平成10年からボランティアとして来園されています。

この日、園児たちはピアノやバイオリンの美しい音色と綺麗な歌声に酔いしれました。



～これから残さず食べます～ 阿蘇の産業「畜産」を見学

学童保育「内牧スマイルキッズ」(牛島真理代表)に通う児童と指導員34人が、8月24日、浜川の「田中ファーム」(田中輝久代表)を訪れ、特産のあか牛とふれあいました。ここは一貫経営とあって、児童たちは牛の出産から肥育、販売までの流れを田中さんの説明で学習することができました。肉用の牛から命の大切さを痛感し「残さず食べたい」との声が聞かれました。



跡ヶ瀬をショウブの花の里へ

跡ヶ瀬区、尾ヶ石開発隊、野菊の会の皆さんが、減反田(2反)に、ショウブの苗8,000株を丸一日かけ植え「跡ヶ瀬ショウブ園」を作られました。このショウブは将来、近くの旧河川(通称:山内川)に移植し、河川的美観、地域活性につなげる計画です。

「跡ヶ瀬ショウブ園」は来年5月が見頃です。場所は旧跡ヶ瀬公民館の南側です。